国会事項

衆議院

質問書提出

九月八日議員から提出した質問主意書は次のとおりである。

政府と沖縄県との話し合いの内容の確認及び透明化に関する質問主意書（仲里利信提出）

国が公有水面埋立法や行政不服審査法において公益を理由としながら私人と同様の立場を主張していることに関する質問主意書（仲里利信提出）

答弁書受領

九月八日内閣から次の答弁書を受領した。

衆議院議員小宮山泰子提出子ども・被災者支援法における支援対象地域に関して政府における科学的見解等に関する質問に対する答弁書

参議院

議事日程

九月九日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第四十号

平成二十七年九月九日（水曜日）

午前十時開議

第一　公認心理師法案（衆議院提出）

第二　労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

第三　労働者の職務に応じた待遇の確保等のための施策の推進に関する法律案（衆議院提出）

答弁書受領

九月八日内閣から次の答弁書を受領した。

参議院議員浜野喜史提出行政文書の管理に関する再質問に対する答弁書（第二六五号）

参議院議員藤末健三提出改正後の重要影響事態安全確保法に防衛大臣の安全配慮義務規定が設けられていないことに関する質問に対する答弁書（第二六六号）

参議院議員渡辺美知太郎提出福島県外の放射性指定廃棄物処分場候補地の詳細調査の実施に関する質問に対する答弁書（第二六七号）

参議院議員徳永エリ提出福島第一原子力発電所事故に由来する避難者に関する質問に対する答弁書（第二六八号）

報告書提出

九月八日委員長から次の報告書を提出した。

公認心理師法案（衆第三八号）審査報告書

労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第四三号）審査報告書

労働者の職務に応じた待遇の確保等のための施策の推進に関する法律案（衆第二二号）審査報告書

人事異動

内閣

○財務大臣臨時代理解職

国務大臣　山本　早苗

（高市　早苗）

財務大臣麻生太郎帰朝につき内閣法第十条の規定による臨時に財務大臣の職務を行う国務大臣としての指定を解く

同　山本　早苗

（高市　早苗）

内閣府特命担当大臣麻生太郎帰朝につき内閣府特命担当大臣（金融担当）事務代理を免ずる（以上九月七日）

内閣府

井上　美昭

小幡　浩之

預金保険機構理事に任命する（各通）（九月八日）

国家公安委員会

（警察大学校教務部長兼教授）

門田　渉

警視監

山形県警察本部長を命ずる

（警視庁総務部長）同

貴志　浩平

埼玉県警察本部長を命ずる

（警察庁警備局警備企画課長）

同　筋　伊知朗

警視庁総務部長を命ずる

（警察庁刑事局組織犯罪対策部組織犯罪対策企画課長）同　内藤　浩文

警視庁組織犯罪対策部長を命ずる（以上八月二十四日）

警察庁

（埼玉県警察本部長）警視監　杵淵　智行

警察大学校長を命ずる

（警察庁次長）同　坂口　正芳

警察大学校長事務取扱を免ずる

（山形県警察本部長）警視長　杉山　明

警察庁長官官房付を命ずる

（警察庁長官官房付）同　杉山　明

外務省に出向させる

（同）同　大賀　眞一

警察庁刑事局組織犯罪対策部組織犯罪対策企画課長を命ずる

（警察庁警備局付）同　難波　健太

警察庁刑事局組織犯罪対策部国際捜査管理官を命ずる

（警察庁警備局公安課長）同　新美　恭生

警視監に任命する

警察庁警備局警備企画課長を命ずる

（警察庁警備局付）同　下田　隆文

警察庁警備局公安課長を命ずる

（関東管区警察局総務監察部長）

警視監　得津　八郎

警察大学校教務部長兼教授を命ずる

（関東管区警察局長）同　大平　修

関東管区警察局総務監察部長事務取扱を命ずる

（警察庁刑事局組織犯罪対策部国際捜査管理官）警視長　河合　信之

関東管区警察局広域調整部長を命ずる

（関東管区警察局長）警視監　大平　修

関東管区警察局広域調整部長事務取扱を免ずる（以上八月二十四日）

外務省

人事院公務員研修所副所長　松田　邦紀

外務事務官（在香港日本国総領事館総領事）に転任させる

（在スペイン日本国大使館公使）

外務事務官　森下敬一郎

人事院に出向させる

（経済局政策課長）同　田島　浩志

在ロシア日本国大使館参事官に転任させる

ロシア国駐箚特命全権大使を補佐しロシア国に在勤する期間公使の名称を与える

（中南米局南米課長）同　大鶴　哲也

経済局政策課長に配置換する

（大臣官房総務課危機管理調整室長兼外交記録・情報公開室長）同　鈴木誉里子

大臣官房考査・政策評価官に昇任させる

（大臣官房考査・政策評価官）

同　彦田　尚毅

中南米局南米課長に配置換する（以上九月四日）

防衛省

（防衛大学校副校長（企画・管理担当））防衛事務官　石塚　泰久

退職を承認する

（防衛医科大学校副校長（管理担当）（併）防衛医科大学校務局長）同　中村　範明

防衛医科大学校事務局長の併任を解除する

防衛大学校副校長（企画・管理担当）に転任させる

（装備施設本部副本部長（航空機担当））同　河村　延樹

防衛医科大学校副校長（管理担当）に転任させる

防衛医科大学校事務局長に併任する

（財務省大臣官房付）財務事務官　西田　安範

防衛事務官（装備施設本部副本部長（航空機担当））に採用する

（東海防衛支局長）防衛事務官　辻　秀夫

退職を承認する（以上八月二十一日）

（装備施設本部施設計画課施設設計室長）防衛技官　西澤　一憲

退職を承認する（八月三十一日）

防衛技官（装備施設本部施設計画課施設設計室長）に採用する（九月一日）

皇室事項

御祝電

天皇陛下は、九月九日タジキスタン国の独立記念日につき、同月八日同国大統領閣下へ御祝電を発せられた。